

2020年3月期 第1四半期連結決算ハイライト

阪和興業株式会社
(単位：億円 億円未満切捨て)

2020年3月期 第1四半期決算の概要

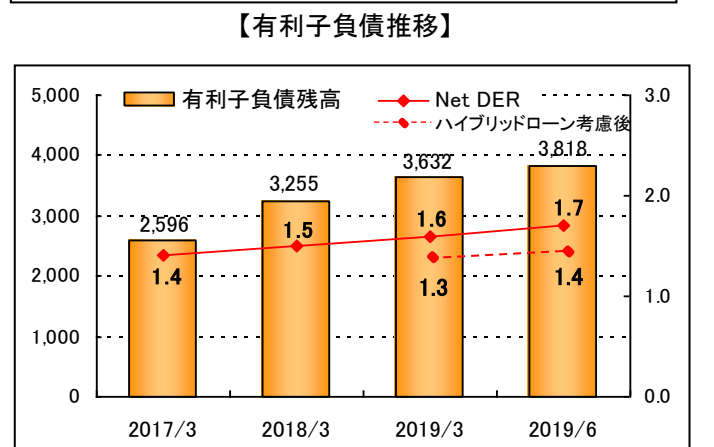
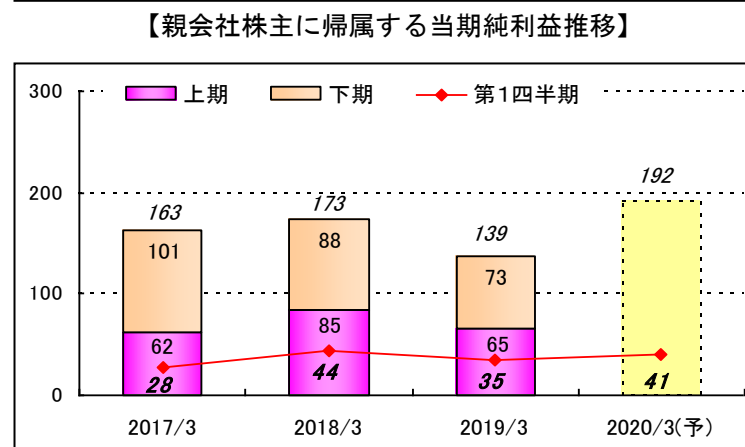
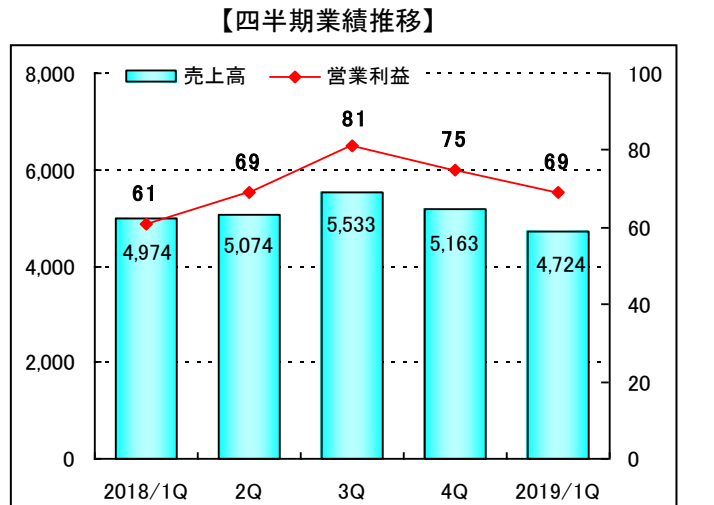
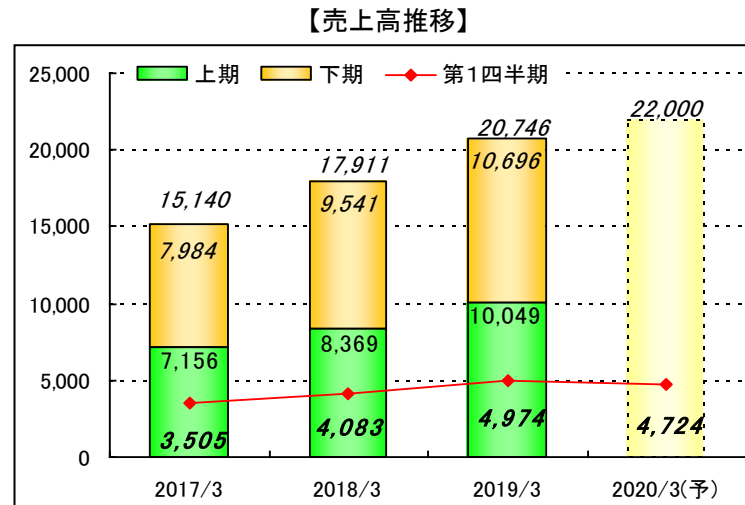
・本年度第1四半期決算は、非鉄金属や石油製品などの商品価格が前年同期に比べて低い水準にあったことや、鉄鋼事業において国内向け・輸出向けともに出荷が減少したことなどから、売上高は前年同期比5%減の4,724億円となりました。一方、経常利益は、戦略的投資先からの受取配当金や前期に損失であった持分法投資損益が利益に転じたことなどから、前年同期比18%増の64億円となりました。
・年間配当は150円(中間配当75円、期末配当75円)を予定しております。

経営成績	当第1四半期 (累計)	前第1四半期 (累計)	前年同期比		主な要因
			増減	増減率	
売上高	4,724	4,974	△250	△5%	(売上高) 非鉄金属や石油製品などの商品価格が前年同期に比べて低い水準にあったことや、鉄鋼事業において国内向け・輸出向けともに出荷が減少したことなどにより、前年同期比5%の減少となりました。 (販管費) 前年同期比で約7億円の増加となり、その内、新規連結した子会社の影響は約3億円でした。また、人件費は約3億円(新規連結子会社分は約1億円)の増加でした。 (営業外損益) 営業外収益は約3億円、営業外費用は約1億円増加しました。経常利益に対する主な影響は以下のとおりです。 受取配当金：前年同期比で約3億円の増加 支払利息：前年同期比で約4億円の増加 持分法投資損益：前年同期約3億円の損失が利益に転じ、約4億円の増益に寄与 (特別損益) ・固定資産売却益1億円：主に連結子会社における不動産売却益 ・投資有価証券評価損3億円：上場有価証券に対する評価損の計上
売上総利益	199	184	15	8%	
販管費	130	122	7	6%	
営業利益	69	61	7	13%	
営業外収益	19	16	3	20%	
営業外費用	24	23	1	6%	
経常利益	64	54	9	18%	
特別利益	1	—	1	—	
特別損失	3	1	1	144%	
税引前四半期純利益	62	53	9	17%	
法人税等	21	19	1	7%	
四半期純利益	41	33	7	23%	
親会社株主帰属分	41	35	5	16%	
非支配株主帰属分	△0	△2	2	△91%	
E P S	101.88円	87.84円	14.04円	16%	
四半期包括利益	18	22	△3	△14%	

セグメントの状況	売上高			セグメント損益(経常損益)			主な要因
	当第1四半期	前第1四半期	増減率	当第1四半期	前第1四半期	増減率	
鉄鋼	2,411	2,434	△1%	39	44	△10%	(鉄鋼) 鋼材価格は前年同期比では高い水準にあったものの、需要の低迷から、仕入価格上昇分の販売価格への転嫁が進みづらい状況となり、減益となりました。 (プライマリー) SAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTDからの持分法投資損益の損失幅が縮小したことや、前年同期の為替差損が差益に転じたことなどから増益となりました。 (リサイクル) 主に銅スクラップ販売において、銅価格の下げ局面で仕入れコストの低減ができたことに加え、為替差益の発生も寄与し、増益となりました。 (食品) 主にエビ類の市況低迷や、前年同期の為替差益が差損に転じたことなどにより、減益となりました。 (石油・化成品) 原油・石油製品価格が低い水準で推移し、取扱数量も減少したものの、PKS(パーム椰子殻)などバイオマス燃料販売の採算向上などから、増益となりました。 (海外販売子会社) 主に米国やアセアン・中国地域での金属・非鉄原料価格下落と取扱数量の減少などにより、減益となりました。
プライマリー	603	791	△24%	15	△5	—	
リサイクル	214	212	1%	9	6	58%	
食品	267	274	△3%	2	5	△61%	
石油・化成品	496	595	△17%	7	4	49%	
海外販売子会社	683	700	△2%	1	4	△60%	
報告セグメント計	4,677	5,008	△7%	76	59	28%	
その他	212	191	11%	2	0	238%	
合計	4,890	5,200	△6%	78	60	31%	
調整額	△165	△225	27%	△14	△5	△167%	
PL計上額	4,724	4,974	△5%	64	54	17%	

トピックス 5月 ・ベトナムのコイルセンターSMC HA NOI ONE MEMBER CO., LTD. の株式65%の取得を決定

財政状態	当第1四半期末	前期末	前期末比		主な要因
			増減	増減率	
総資産	9,231	9,333	△101	△1%	(総資産) 売上高の減少に伴う売上債権の減少などにより、前期末比1%減となりました。 受取手形及び売掛金 3,922億円 (前期末比 △6%)
(流動資産)	7,191	7,249	△58	△1%	
(固定資産)	2,039	2,083	△43	△2%	
負債	7,212	7,308	△95	△1%	(負債) 仕入債務の減少などにより、前期末比1%減となりました。有利子負債は5%増加し、ネットDERは1.7倍(1.4倍)となりました。
(グロス有利子負債)	3,818	3,632	185	5%	
(ネット有利子負債)	3,183	3,039	144	5%	
Net DER	1.7/1.4*倍	1.6/1.3*倍	0.1倍	5%	
純資産	2,018	2,024	△6	△0%	(純資産) 四半期純利益からの積み上げはありましたが、前期末配当金の支払いによる利益剰余金の処分やその他有価証券評価差額金の減少などにより、前期末比0.3%減となりました。 自己資本比率は前期末比0.1ポイント上昇の20.3%(23.0%)となりました。 (*ハイブリッドローン考慮後のネットDER及び自己資本比率)
(株主資本)	1,820	1,809	11	1%	
(その他の包括利益累計額)	53	72	△19	△27%	
(非支配株主持分)	144	142	2	2%	
B P S	4,610.27円	4,632.55円	△22.28円	△0%	
自己資本	1,873	1,882	△8	△0%	
自己資本比率	20.3/23.0*%	20.2/22.8*%	0.1pt	—	



通期の見通し	通期業績予想		前期実績	
	対前期増減率	対前期増減率	対前期増減率	対前期増減率
売上高	22,000	20,746	6%	
営業利益	355	289	23%	
経常利益	280	233	20%	
親会社株主に帰属する当期純利益	192	139	38%	

配当の状況	前々期末実績		
	前々期末実績	前期末実績	当期予想
中間期※	50.00円	75.00円	75.00円
期末	75.00円	75.00円	75.00円
年間配当	125.00円	150.00円	150.00円
配当性向	29%	44%	32%

(※ 前々期末実績は、5株を1株にする株式併合を加味して換算しております。)